

平成24年度

事業計画書

平成24年 4月 1日から

平成25年 3月31日まで

平成24年度 事業計画

1. 発生予防事業

次頁のとおり下記事業による予防接種を計画。

(1) 補助事業発生予防事業(家畜生産農場清浄化支援対策事業:農林水産省補助事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道衛指協事業)

ア. 牛伝染性鼻気管炎(IBR)

イ. 牛3種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ)

ウ. 牛4種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

エ. 牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

オ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

カ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

キ. 牛嫌気性菌3種、牛伝染性鼻気管炎同時

ク. 牛嫌気性菌3種、牛3種混合同時

ケ. 牛嫌気性菌3種、牛4種混合同時

コ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合同時

サ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合(不)同時

シ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合同時

ス. 牛嫌気性菌3種

セ. 牛下痢5種混合(不)

ソ. ニューカッスル病(生)

タ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

チ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

ツ. 日本脳炎(馬)

テ. 馬インフルエンザ

ト. 破傷風(馬)

ナ. 馬鼻肺炎

ニ. 豚丹毒

ヌ. 豚流行性下痢(PED)

ネ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会委託事業)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ

(4) 馬鼻肺炎流産予防接種事業(中央畜産会委託事業)

ア. 馬鼻肺炎

平成24年度 発生予防事業計画集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	前年度実績(B)	前年度実績比 A/B
豚 丹 毒	123,000	121,097	101.6
豚 伝 染 性 胃 腸 炎 ・ 豚 流 行 性 下 痢 混 合	0	8,175	0.0
ニ ュ ー カ ッ ス ル 病	113,000	123,000	91.9
牛 伝 染 性 鼻 気 管 炎	523,150	516,943	101.2
牛 嫌 気 性 菌 3 種	86,750	86,032	100.8
ア カ バ ネ 病	7,200	6,978	103.2
牛 下 痢 5 種 混 合	18,000	17,889	100.6
馬 3 種 混 合	27,400	26,958	101.6
日 本 脳 炎 (馬)	5,500	5,232	105.1
馬 イ ン フ ル エ ン ザ	14,500	13,365	108.5
馬 鼻 肺 炎	18,100	18,047	100.3
合 計	936,600	943,716	99.2

(地区別内訳は別紙2)

2. 農林水産省補助事業

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

- ・ ヨーネ病清浄化対策
自主検査、自主とう汰の助成等。
- ・ オーエスキー病清浄化対策
種豚生産農場の出荷豚について抗体検査及び証明書の発行。

イ. 疾病発生・流行防止支援対策

アカバネ病の予防接種の実施。

ウ. 農場飼養衛生管理強化対策

獣医師等による農場飼養衛生管理向上のための指導への助成等。

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

24ヵ月齢以上の死亡牛を対象とする。

ア. 死亡牛検査処理安定化対策

イ. 死亡牛検査(BSE)支援対策

3. 中央畜産会委託事業

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業(日本中央競馬会・地方競馬全国協会補助事業)

ア. 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

イ. 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催

ウ. 地域馬獣医療実態調査の実施

(2) 家畜防疫互助基金造成等支援事業(農畜産業振興機構補助事業)

ア. 家畜防疫互助事業、地方推進事業

- ・ 家畜防疫互助制度の普及と推進会議の開催。
- ・ 生産者の事業参加の推進。

(3) 育成馬等予防接種推進事業(日本中央競馬会・日本軽種馬協会・地方競馬全国協会補助事業)

ア. 馬防疫の普及・啓発

イ. 日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザの予防接種の実施

(4) 馬鼻肺炎流産予防接種事業(日本軽種馬協会補助事業)

ア. 馬防疫の普及・啓発

イ. 馬鼻肺炎の予防接種の実施

- (5) 組織強化対策事業(中央畜産会助成事業)
自衛防疫に関する情報の収集と提供

4. 自衛防疫強化総合対策事業

- (1) 全道、地区における防疫会議の開催
- (2) 広報誌の発行
- (3) 牛伝染性鼻気管炎(IBR)関連予防接種への助成

5. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

- (1) 関係機関との連携強化並びに情報交換、広報誌の発行等により、道内における自衛防疫の円滑な推進に努める。
- (2) 各種講習会の開催
 - ア. 家畜衛生技術普及講習会を支部単位で開催する。
 - イ. 畜産農家対象の講習会を家畜保健衛生所や農業共済組合獣医師等の協力を得て開催する。

6. 家畜衛生関係団体への協力

家畜衛生に関する団体について事務局を担当し、事業活動に協力する。

- 1) 鶏病研究会 北海道支部
- 2) 北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会
- 3) 北海道牛削蹄師会

7. 北海道家畜畜産物衛生指導協会の表彰事業

個人又は団体で、自衛防疫事業の推進に著しい功績があった場合には表彰する。